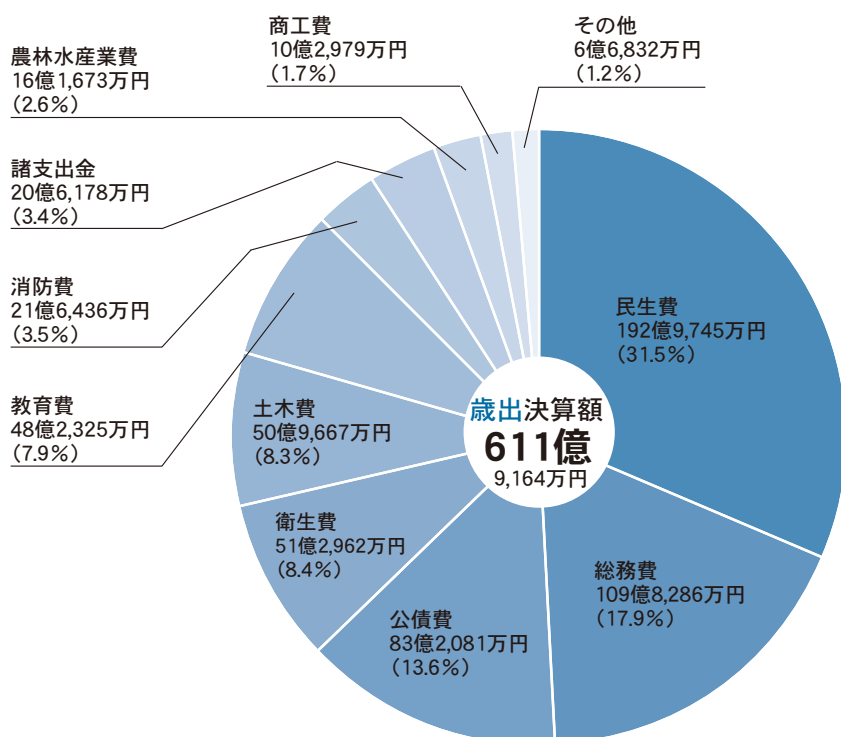
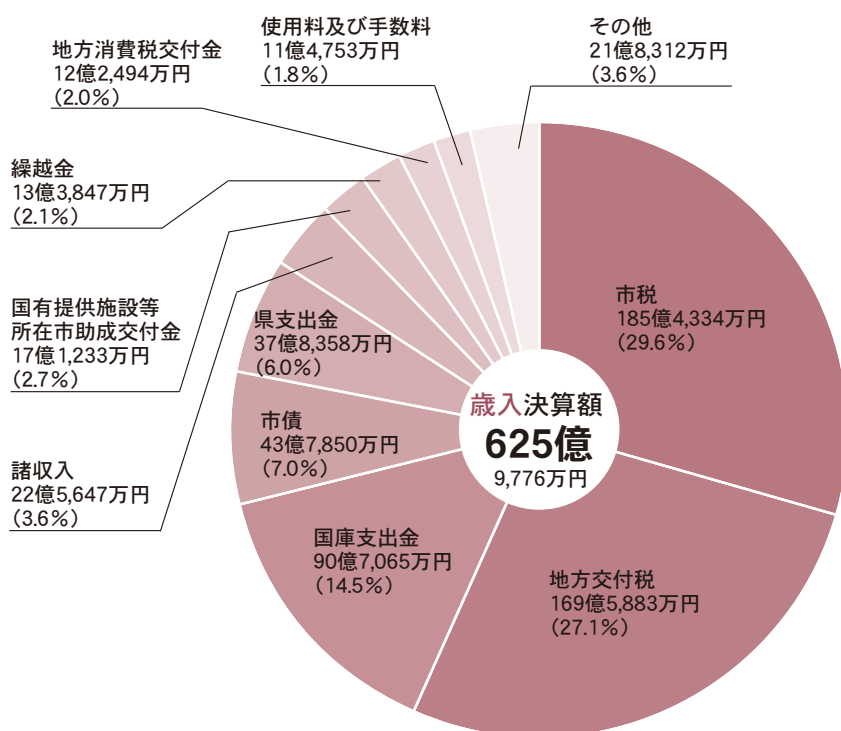


市の財政状況

市の財政状況を皆さまに知っていただくため、毎年9月末と3月末の予算の執行状況と決算を公表しています。今回は、平成24年度の決算、決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率、平成25年度予算の上半期執行状況（平成25年9月30日現在）をお知らせします。

財政課 ☎ 5050

一般会計



一般会計の収支状況

625億9,776万円 (歳入決算額)	−	611億9,164万円 (歳出決算額)	=	14億 612万円 (形式収支)
14億 612万円 (形式収支)	−	4億4,852万円 (翌年度に繰り越すべき財源)	=	9億5,760万円 (実質収支)



平成24年度 決算

特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
土地取得事業	2,887万円	2,887万円	0円
後期高齢者医療	20億5,631万円	19億9,168万円	6,463万円
国民健康保険	185億5,195万円	182億1,243万円	3億3,952万円
介護保険	127億6,738万円	126億1,664万円	1億5,074万円
簡易水道事業	4億7,295万円	4億7,292万円	3万円
農業集落排水事業	2億1,449万円	2億1,439万円	10万円
特定地域生活排水処理事業	5,721万円	5,721万円	0円
周東食肉センター事業	4億9,831万円	4億9,830万円	1万円
観光施設運営事業	1億4,903万円	1億2,650万円	2,253万円
錦帯橋管理	2億1,331万円	1億9,677万円	1,654万円
市場事業	5億3,813万円	5億3,813万円	0円
公共下水道事業	39億8,206万円	39億6,188万円	2,018万円
小規模下水道事業	1,795万円	1,795万円	0円

平成24年度に実施した主な事業

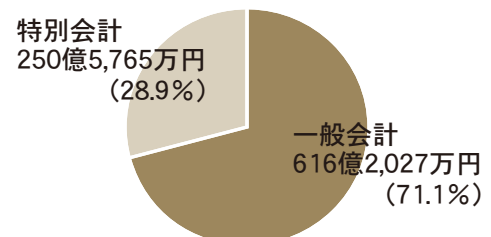
- 児童手当支給事業
- 岩国空港ビル株式会社貸付金
- 総合支所等整備事業
- 小学校施設耐震化推進事業
- 中学校施設耐震化推進事業
- 川下地区運動広場整備事業
- 多目的広場・防災センター整備事業



▲川下旭運動広場

市債残高

市債とは、道路や学校などの公共施設を整備するために、国などから借り入れる長期借入金です。



$$616億2,027万円 \text{ (一般会計)} + 250億5,765万円 \text{ (特別会計)} = 866億7,792万円 \text{ (市債合計)}$$

平成24年度決算に基づく 健全化判断比率と資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下「財政健全化法」という）に基づき「健全化判断比率」と各公営企業の「資金不足比率」を公表することが義務付けられています。

財政健全化法は「早期健全化」と「財政再生」の2段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計も併せた連結決算により財政状況を明らかにしようとするものです。

健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
岩 国 市	—	—	14.3%	62.4%
早期健全化基準	11.53%	16.53%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

健全化判断比率には次の4つの指標があります。1つでもこの比率が早期健全化基準を超えた場合は財政健全化計画を、財政再生基準を超えた場合には財政再生計画を策定することが義務付けられています。

●実質赤字比率

一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。平成24年度決算は黒字であることから実質赤字比率は生じていません。

●連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模の額に対する比率。平成24年度決算は黒字であることから連結実質赤字比率は生じていません。

●実質公債費比率（3カ年平均）

一般会計などが負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率。平成24年度決算は3カ年平均で14.3%となっています。

●将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。この比率が高いほど将来の財政が圧迫されます。平成24年度決算は62.4%となっています。

資金不足比率

公営企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
簡 易 水 道 事 業	—	20.0%
農 業 集 落 排 水 事 業	—	
特定地域生活排水処理事業	—	
周 東 食 肉 セ ン タ ー 事 業	—	
観 光 施 設 運 営 事 業	—	
錦 帯 橋 管 理	—	
市 場 事 業	—	
公 共 下 水 道 事 業	—	
交 通 事 業	—	
水 道 事 業	—	
工 業 用 水 道 事 業	—	
病 院 事 業	—	

●資金不足比率

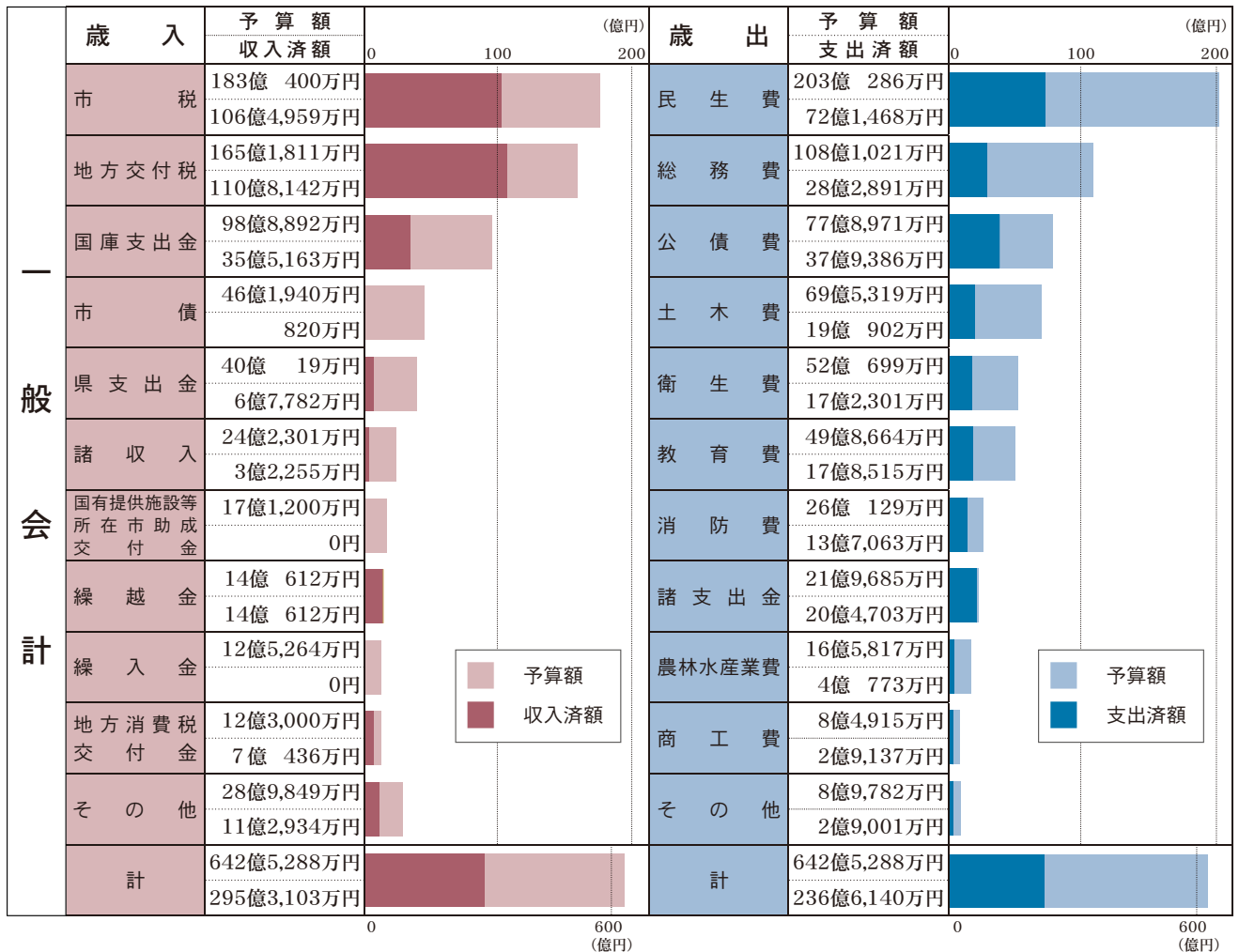
公営企業ごとの事業規模に対する資金の不足額の比率。

平成24年度決算では、12会計全てにおいて、資金不足比率は生じていません。



平成25年度 予算執行状況

【平成25年9月30日現在】



会 計 名	歳入歳出予算額	収入済額	支出済額
土地取得事業	6億 100万円	5万円	5万円
後期高齢者医療	21億3,263万円	7億3,928万円	6億7,889万円
国民健康保険	190億5,058万円	75億 591万円	76億1,392万円
介護保険	136億1,149万円	136億1,149万円	53億9,951万円
簡易水道事業	3億8,250万円	1,611万円	8,655万円
農業集落排水事業	2億1,810万円	2,019万円	8,211万円
特定地域生活排水処理事業	6,193万円	429万円	1,839万円
周東食肉センター事業	11億1,001万円	1億1,432万円	1億1,161万円
観光施設運営事業	1億3,992万円	7,554万円	4,995万円
錦帯橋管理	2億 814万円	1億 649万円	2,760万円
市場事業	3億1,870万円	7,317万円	1億5,840万円
公共下水道事業	46億 713万円	3億4,200万円	13億7,730万円
小規模下水道事業	750万円	100万円	220万円
計	424億4,963万円	226億 984万円	156億 648万円

●市有財産の状況

土地	52,537,610㎡
建物	681,046㎡
基金	170億7,354万円
債権その他	40億3,841万円

●一時借入金

0円

●市債の現在額

一般会計	582億8,651万円
特別会計	237億8,681万円
合計	820億7,332万円

●市民一人当たりの負担額

(人口 143,489人)

市税負担	127,564円
支出予算	447,790円